

IPEC21-2003

今年度のIPEC21-2003は昨年までと大きく変わっています。『デザイナーズショーケース』という企画を設け、デザイナー側から、企業へ・ユーザーへと情報発信を行う場です。企業とデザイナーのコラボレーションの機会をきっかけづくりに貢献できればと思っています。著名な招待デザイナーの方々の情報発信も有ります。ご期待下さい。詳細はIPEC21のホームページをご覧ください。

(URL: <http://www.ipec21.jp/>)

今年度の基調講演は第1回に引き続き、安藤忠雄さんをお願いすることになりました。その他のセミナーも充実しています。同一時間に2つのセミナーが重なることが無い様に3日間の時間割りをしています。是非とも迷うこと無く、多くのセミナーにご参加下さい。

JIPAT会員の皆さまには9月中にはパンフレットと入場券が郵送されます。でも、それは、廻りのお知り合いに差し上げて下さい。皆さまは前述のホームページの登録で、入場券を確保してください。そこで登録しますと、入場時の手間も省けます。同時にたぶん早いもの順になる安藤さんの公演の申し込みもできます。今すぐアクセスを!

IPEC21-2003実行委員会

IP法律セミナー

【知的財産の基礎知識】

講師 中園弁護士

前回の知的所有権セミナーでは、知的所有権にはどんなものがあるか、人類の発展にどう寄与してきたかを学びました。今回は、さらに具体的に、受講者の疑問に答えてくださる内容で、会場の雰囲気は熱く、ときどき「ふむふむ」とうなづく声が聞こえてきました。

セミナーの要旨は以下のとおりです。

まず、知的所有権の中で、デザイナーがよく関わる著作権と意匠権の違い。著作権は、「異なっていればよく」、下手でもよい。しかし、意匠権は「異なっているだけではなく」、差別化して、競争力を持たせ、需要の拡大につなげるための



ためにある。そもそも、商品の価値とは、「使用価値」「物質的価値」「文化的価値」「安全価値」「環境的価値」「人間的価値」を備えて、全体として価格に見合っていること。日本製品は高い、が、それに見合う価値を満たすことが大切である。特に成熟した産業では、技術で先んじることにも限界があり、かつて日本が欧米にしたように、日本製品をアジア諸国がまねて安く作っている。「まねるな」と言うよりも戦略的にブランドを作ること。ブランド政策の内実はデザインである。デザインはマネジメントの中に入っていかなければならず、それができる人材育成をすべし。JIDA(工業デザイン)はグッドデザイン賞でデザインを世で評価し合っている。インテリアデザインではどうか。プランナー協会が評定する機関を作りたい。

このように、先生のデザインへの期待が熱く語られ、受講者の皆様はますますデザイナーとして奮起されたことであろう。この他、意匠権は登録することからはじまるので、その方法、類似かどうかの見極め方、侵害と損害の出し方、などを具体例を交えてお話しいただきました。短時間なのに盛り沢山のセミナーでした。

株式会社トミタ 富田互正 / 風大地
プロダクツ 芝桃子

会員交流フォーラム

第15回 賛助会員インフォメーションの会
講演 建築物のシックハウス対策

第15回 東京インテリアプランナー協会 会員交流フォーラム 賛助会インフォメーションの会を、8月6日(水)18:30-20:30サンゲツ東京ショールームにて正会員15名 賛助会員23名 ビジター7名 計45名にて開催致しました。

当初の参加申込みは74名様に対し45名の参加者でありました。

受付は6時よりサンゲツ受付を拝借し、サンゲツ受付嬢様の応援の元開始致しました。

今回は会員増強の一環として、受付時に全ビジター様の会員資格有無の確認をさせて頂きました。残念ながら会員資格者はおられませんでした。スタートを10分伸ばし、6時40分松澤氏の司会進行により、企業発表のスタートです。

まず最初に、サンゲツ マーケティング本部購買課 課長代理 森 保氏による「建築基準法におけるシックハウス対策について」 壁装問屋協議会資料を参考に、シックハウス症候群の定義と症状・法改正に至った経緯・改正の要旨・壁装業界の対応を説明頂き、次に高島屋スペースクリエイティブプランニング・デザイン本部営業推進室 山口太郎課長による「シックハウス対策強化に対する当社の対応」・対象品の種別(建築材料、二次加工品、ユニット製品)・ホルマリン対策建材・海外生産における問題点・業界別の状況・証明書類保管・建築検査・自主測定の実現性に関し順次説明を頂き、質疑応答では参加者より、高島屋の山口課長へ具体的な対応に関し活発な質疑が寄せられ山口課長も質問の内容の一部困惑された場面もあり、参加者の関心の深さを感じさせられたフォーラムでした。

最後に、今回の会場を提供下さり、また、



時間外にも関わらず受付業務までご協力頂きました。サンゲツ様に感謝申し上げます。

記 東リ(株) 片山 寿彦

第2回賛助会員企業訪問

㈱サメジマコーポレーション

会員交流委員会と賛助会員の会で企画された「賛助会員インフォメーションの会-企業訪問」の第2回が7月5日の第1部に続き8月21日、銀座の吉水で行われた。各階毎に仕様をアレンジし、竹、和紙、無垢材などの自然素材とサメジマコーポレーションの珪藻土を全面的に採用した客室を見学したあと、「吉水」の女将中川誼美さんのお話を伺



い、意見交換を行った。京都で築100年の旅館を再利用し自然に囲まれた「お宿・吉水」を運営

する中川氏が、昔ながらの暮らしや文化の発信地として東京に新築開業した銀座の「お宿・吉水」は女将の「人となり」と共にマスコミにも多く採り上げられ人気

を博している。テレビも冷蔵庫も置かず、無駄なサービスを排し寝具や食材も徹底してオーガニックな素材にこだわった自然でありのままのスタイルは、化学製品や合成樹脂の蔓延する現代の衣食住に嘆く中川氏の強い思いと生き方そのものであり、特に「建築」のあり方に対しては施主としての立場から厳しい提言も飛び出したが、むしろ参加者は皆共感を覚え、多くの賞賛のコメントが残された。都会を忘れさせる快適で優しい空気の中で、無農薬で旬の食材を厳選したランチに舌鼓を打ち、「本日は大収穫!」との声が上がった。

連載 3分間のタイムスリップ

& インテリア総合デザイン室 井上 常雄

顧客からの依頼のなかに、「現在気に入って使っている家具がありそれをどうしても使いたい。それを考慮に入れレイアウトして欲しい」と云われる場合がある。その場合、特に造るのか、既成のものにする



のかを即決める必要が出てくる。俳優が演技を組み立てる場合『うらづけ』という技法を使う。「ここで笑う」と台本にある場合、らいらくに笑うのか、はにかんで笑うのかを決める場合、人物像の生い立ちから、生きてきた過程を考えて、その笑いを表現するという。インテリアを考える場合もこのうらづけが必要になる。なぜなら何故このデザインにしたのと問われた場合、このうらづけを説明することで顧客を納得させることができるわけで、モダン、エレガント、シック等々は個々のイメージがあるので、話し合いで顧客満足は得られるはずで、クラシックとなるとなかなかである。イギリスの家具



を知ることは世界の家具が理解できると云っても良い。なぜなら、イギリス人の家具に対しての執着は我々日本人には理解で

きない程である。それは生活の中だけでなく人生の中で家具が極めて大きな位置をしめているのである。イギリスの中産階級の人々は年代物の家具を持つことが基本的条件になっているようである。あの文化財保護という国民的行事とも云える



当時の家具職人、木にロープを巻き付けてルータを回している

「ナショナルトラスト」をもって、古き時代を大切にしている国民である。現在も公爵、侯爵、子爵、伯爵、男爵、などの爵位を持っている国である。つまりいつの時代に先祖は爵位を執ったのかを家具で見せる。つまり家具はその家系にとつてのステータスになるのである。チューダー様式、ジャコビアン洋式、クロムウエル、アングロ・ダッチ、クインアン、などの様式を外すと、あとはロココ洋式とエンペラー洋式など数は限られるのである。つまりイギリスの家具を知ることは世界の家具を知る近道である。前置きが長くなってしまった。では、いつ頃から人々は家具を使うようになったのか。ヘンリー8世の時代(エリザベス1世の父)ローマ教会からの離脱を経る事件があった、これが宗教改革である。分かり易くいえばスペインから嫁いできたキャサリンと離婚したため、ローマカソリックから離脱して、イギリス国教会をつくったのである。これによって国中の教会の調度品や壁画までことごとく破壊された時期でもあった。度重なる戦いで急いで逃げなけれ



(メダリオン) 家紋入りイス

ばならなかった。当時の家具は実用一点張りで、冬になればホールの中央で火を焚いたため、食堂テーブルは壁側に置かれ、スツールや長イスに座り壁にもれていた。家具らしいものが置かれるようになったのはエリザベスの時代になってからのことで、国内の安定と繁栄が国民全体のものになり中産階級として、貿易業者や商人が出現し、現在見られるような生活スタイルが確立出来つつあった。このことにより生活様式にあった家具が生まれてきた。日本で有名な大仏様のベットと呼ばれるベットも前方支柱にバルボス(球根形)と呼ばれる引き物細工を施すようになり、テーブルや食器棚の前円柱に使われるようになり、デザインが統一されるようになった。カップアンドカバー(コップと受け皿)とかダブルカップ等もこの時代の意匠である。この時代を総称してチューダー様式と呼ぶ。この時代、社会における決定的境界線はジェントリー階級であるかどうかだった。つまり大学卒業生とか王の軍隊の将校などが、紋章官によって認められると、家紋の使用が認められた。この家紋が、椅子やチェストに彫込まれるようになった。



カップアンドカバーの意匠



第15回JIPAT親睦ゴルフコンペ

8月2日、土曜日、第10回JIPAT親睦ゴルフコンペが千葉県長生郡のラ・ヴィスタゴルフリゾートにて参加総数12組48名と過去最大のスケールにて開催されました。前回の雨交じりの寒い大会とは打って変わって今回は長い梅雨の合間の申し分ない晴天。アニカ ソレンスタムも戦略的コメントしていた通り、うねったフェア

ウェイに多くの池、そして早いグリーンと難易度の高いコースではハイレベルな戦いが繰り広げられ大接戦となりました。ゴルフとは別にもうひとつの交流の場として今回はバスによる送迎を取り入れました。約3分の1の方が利用をされ、懇親会は東京まで続き最後は賞品のワインまでご提供頂き楽しいミニバス旅行のおまけ付となりました。



優勝者濱弘美さんコメント
「関東地方が梅雨明けした晴天でのJIPATコンペ。コース設計者の策略にまんまと嵌まりOBを多発しました

が、HDCPに恵まれて栄えある優勝をさせていただきました。また、パーティーでは数多くの方々と語り合うことができ、楽しい交流をさせていただきました。幹事の方々、ご苦労さまでした。次回のコンペを楽しみにしています。」

		アウト	イン	グロス	ハンディキャップ	ネット
優勝	濱弘美さん	44	45	89	18.0	71.0
準優勝	細井弘明さん	42	46	88	16.8	71.2
3位	松下秀二さん	42	43	85	13.2	71.8
ベスグロ	田代洋一郎さん	41	44	85		
	松下秀二さん	42	43	85		

編集後記

「夏」を実感できないまま「秋」を感じる季節になってしまいました。夏生まれの私には太陽の顔を少ししか見られなくてちょっ

と残念な夏でしたが、JIPATの活動は盛りだくさんでした。記事もたくさん集まり、充実したニューズレターになったことを感謝します。(情報委員会 羽沢昌子)

情報委員会では、「ニューズレター」「インフォメーション」のeメール配信を行っております。eメールによる配信をご希望される方は、お名前、会社名、TEL・FAX番号、メールアドレスをご記入の上、事務局までFAXまたはeメールでお知らせください。

2004年5月29日(予定) JIPAT設立10周年記念大会!

発行者：東京インテリアプランナー協会 会長 中川 誠一 編集者：情報委員会